

経済・社会活動を支える
インフラを
健康な状態に保つには

評価指標の
作り方や
そのポイント

流域全体で
水害を軽減させる
ことが大事

安全安心 住みよい 街とは？

安全で安心な社会基盤の見方とは



11/29 (金) 14:00 開演

参加無料

受付 13:30 ~

「空気と安全はタダ」と思われがちですが、実際には多くの人々が支えています。静岡理科大学の土木工学科では、材料・構造系と計画系が協力し、地方都市の住民を災害から守る方法や人材育成について教育・研究を行っています。講演では、これらの活動の一部をご紹介します。

対象 建築・土木関係企業様、自治体関係者様、一般の方、知見を高めたい方でしたらどなたでも構いません。業種は問いません。

定員 100名様
(定員になり次第締切)

会場 学校法人 静岡理科大学
静岡駅前キャンパス 4階



静岡理科大学

主催 / 学校法人 静岡理科大学 SISTコラボスクエア
[地域協働センター] <https://sist-net.ac.jp/>

安全安心住みよい街とは? 11/29 (金) 14:00 開演

参加無料 受付 13:30 ~

※講演は、すべて出席ではなくいずれかの参加でも構いません。途中退席されても構いません。

講演
1

静岡市の巴川流域治水の 取組みについて

14:00 ~ 14:30



静岡市の市街地を流れる巴川流域においては、大雨により、しばしば浸水被害が発生しています。特に、50年前の七夕豪雨や、令和4年9月の台風15号では、洪水により建物が浸水するなど、多くの被害が発生しました。被害を軽減するための、本市における流域治水の取組みについてご紹介します。



講師
建設局土木部河川課
主幹兼計画係長

鈴木 亘
Suzuki Wataru

静岡県賀茂郡生まれ。千葉工業大学工学部土木工学科卒業。1996年静岡市役所入所。道路整備課、技術政策課、道路保全課などを経て現在に至る。自己啓発のために取得した資格は、技術士（建設部門）、コンクリート診断士、一級土木施工管理技士、宅地建物取引士など。

講演
2

社会資本総合整備計画に 関する評価指標の作り方

14:40 ~ 15:40



地方公共団体において、国の社会資本整備総合交付金は自由度が高く創意工夫を活かせる予算です。この予算で計画を立てると、目標の実現状況を評価し公表する必要があります。安全・安心なまちづくりの事業を計画した場合、安全・安心の評価はどのような数値で表すのか。評価指標の作り方やそのポイントをお話します。



講師
静岡理科大学 理工学部
土木工学科 准教授

松本 美紀
Matsumoto Miki

筑波大学第一学群自然学類卒業。愛媛大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻（修士）、同大学院理工学研究科生産環境工学専攻修了（博士）。国土交通省国土技術政策総合研究所、JASSO東京日本語教育センター、東邦大学付属高校教員、宇都宮大学社会基盤デザイン学科助教、環境省認定JACCAを経て2022年静岡理科大学土木工学科准教授。

講演
3

社会インフラ構造物の 健康診断 ~検査の方法と役割~

15:50 ~ 16:50



人間と同様に社会インフラ構造物も定期的な検査が必要です。特に、見えないところで病気が発症、進展していざというときに機能しないと作った意味がありません。社会インフラ構造物の健康診断として、一般的な調査の方法や非破壊検査、IoTを活用した最新の技術等を紹介し、健康診断の重要性と身の回りの社会インフラ構造物への関心を高めてもらいます。



講師
静岡理科大学 理工学部
土木工学科 教授

西田 孝弘
Nishida Takahiro

広島生まれ。東京工業大学工学部土木工学科卒業。同大学大学院修士課程修了後、博士課程に進学。在学中に助手に着任。その後電力中央研究所主任研究員、港湾空港技術研究所主任研究官、京都大学准教授等を経て2022年4月より静岡理科大学土木工学科教授。

名刺
交換会

16:50~17:10

是非この機会に、3名の講師の方々へご質問などお気軽にお話ください。

お申込み方法

右記 QRからお申込みください

申込締切▶11/15(金)まで

*定員(100名様)になり次第締切となります。
*ご不明な点は下記お問い合わせ内メールアドレスまでお問い合わせください。



会場

SISTグループ 静岡駅前キャンパス 4階

交通アクセス | 〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20 12階

- JR静岡駅北口より.....徒歩3分(地下道直通)
- 静岡鉄道新静岡駅けやき通り口より.....徒歩4分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



1F正面エントランスよりお入りください
(地下道からはP出口をご利用ください)

お問い合わせ